

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスウィズ・ユー 堺 鳳			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～	2024年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		～	2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広い	児の活動スペースにおいて安全性が保たれているかの評価を日々行い、整理整頓を日々の業務とし広いスペースを維持できている。	開所して満一年となり、今後出てくるであろう経年劣化を早期に発見し対策できるようにマニュアル化を図る。
2	多彩なプログラム	毎日違うプログラムを実施し、飽きの来ない療育支援の提供をすることができています。	保護者様にもアセスメントを行い、必要な療育課題のさらなる拡充や、より一層楽しめる取り組みを増やしていけるようにしていく。
3	保護者様へのプログラム（ペアレントトレーニング・保護者参加型プログラム）	毎月参観を企画し、保護者様に児童の療育を受ける姿を見学頂きながら、子育てや療育の悩み、相談を受ける機会を設けています。 また、子育て勉強会と称して会議室を貸し切り、子育てや今後の進路の考え方を伝えるイベントを行っております。	最近利用開始した利用者様への周知が弱いと感じた。 取り組みの機会をさらに増やし、より多くの保護者様に参加して頂けるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	地域にデイを利用していることを知られたくない保護者様もいるため、プログラムとして教室として取り入れることに二の足を踏んでいる	地域の子供を招いても良い（または地域の行事に参加する）児童とそうでない児童に分けてプログラムを用意できるように、人員の拡充、企画の多様化を検討する。
2	取り組み内容のアピールができていない	避難訓練・参観・保護者勉強会・保護者参加型イベントの開催・面談等、取り組んでいる内容の周知が足りず、保護者様に伝わっていないことが今回のアンケートで把握できた。	保護者掲示板・お手紙・HP・SNS・お電話にて参加を促すことで、取り組みを行っていることを広く保護者様に伝えていく。
3	デイサービスのガイドラインや児童福祉法の理解等、制度やルールの理解・教育が不足している	毎月研修を堺の事業所合同で行っております。 障がいの理解や、ABA等の研修を中心にやっているため、最近ではガイドラインや法律関係の研修に注力できていませんでした。	入社時の研修だけでなく、新しいスタッフと古参のスタッフが共通認識でコンプライアンスや目的意識を持つことができるように研修を行っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
ウィズ・ユー 堺 鳳		2024年 9 月 25 日						
		利用児童数	回収数					
		5	4					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			1		学習スペース・活動スペースの完全分離等、児童の活動に合わせて使い分けができる環境を整備しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					基本人員配置に加え、児童指導員等加配加算、専門的支援体制加算を取得しており、潤沢なスタッフ配置により、より良い療育支援ができるように体制づくりをしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1		視覚優位のお子様にも見通しを立てやすいスケジュール標記を行い、バリアフリー化やコーナガードを使用し安全面に配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					日々の清掃はもちろん、壁紙の修繕を徹底して清潔感を保ち、空気清浄機や観葉植物の配置を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					堺市や放課後連絡会が主催する研修会に積極的に参加し、法人内での共有を行うとともに毎月社内研修をzoomを使用し開催している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					公表しているプログラム内容を取り組み、療育効果を明記しているため、スタッフが共通認識のもと支援することができている。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					対面での面談はもちろん、zoomを使った面談にも対応しており、内容を個別支援計画作成に活用しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					個別支援計画を作成し、保護者様に同意を頂き支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					毎日違うプログラムを実施し、飽きの来ない療育支援の提供をすることができています。
保護者 への 説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			2		7月8月と猛暑のため取り組みは行っておりませんが、地域の公園等の外出を積極的に行い、地域のお子様との活動機会を作っております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					利用契約時に皆様に丁寧に説明させて頂いており、不明点等出てきた際には都度説明対応させて頂いております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					面談を対面・zoomと保護者様のご都合に合わせて対応させて頂き支援の説明をさせて頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		長期休暇以外の月では毎月参観日を設けさせていただき、日々の支援を実際に見学頂きながら
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					送迎時に毎回しっかりと様子や支援内容をお伝えさせて頂き、時間が足りない際にはその後お電話にてお伝えさせて頂いております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					面談を対面・zoomと保護者様のご都合に合わせて対応させて頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					保護者様の立場に立て日々の支援を心がけています。良かれと思って行った支援への思いが一方通行にならないように注意しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			1		年に3.4回保護者参加型のイベントを企画しております。（BBQ大会、クリスマス会、花見等）

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					面談を対面・zoomと保護者様のご都合に合わせて対応させて頂いております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					システムからのメッセージにより、365日24時間情報伝達が可能な体制を作らせて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1				契約の際にももれなくSNSの案内はさせて頂いており、HPにて自己評価表の公表もしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					個人情報には鍵付き書庫に保管し、取り扱いの同意書も契約時に漏れなくさせていたいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					事業所の入り口付近に掲示しており、年二回の消防訓練も実施しております。また、緊急時や訓練実施の予定もシステムメッセージを使い広く周知させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					定期的に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					避難場所や緊急連絡先もて行きのシステムメッセージより周知させて頂いております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					怪我等の発生時には迅速に保護者に連絡を取り、必要であれば救急車を手配しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					安心・安全・楽しい を大切にしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	1				安心・安全・楽しい を大切にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					慢心することなく、より良い療育の提供に邁進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウィズ・ユー 堺 鳳		公表日			2024年 9 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		児の活動スペースにおいて安全性が保たれているかの評価を日々行い、整理整頓を日々の業務とし広いスペースを維持できている。	開所して満一年となり、今後出てくるであろう経年劣化を早期に発見し対策できるようにマニュアル化を図る。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基本人員配置に加え、児童指導員等加配加算、専門的支援体制加算を取得しており、潤沢なスタッフ配置により、より良い療育支援	積極的な人員の採用、離職率の低下を目的としたスキルアップやキャリアアップの制度を今後も継続して増やす。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚優位のお子様にも見通しを立てやすいスケジュール標記を行い、バリアフリー化やコーナーガードを使用し安全面に配慮してお	今後もユニバーサルデザインを意識して教室の環境整備を行えるよう、定期的に現場スタッフで話し合いをする場を設ける。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々の清掃はもちろん、壁紙の修繕を徹底して清潔感を保ち、空気清浄機や観葉植物の配置を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		静養室の完備はもちろん、必要に応じて合理的に配慮することができるスペースを事前にスタッフ間で共有し活用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		弊社独自の中間層のスタッフが中心となる会を発足し（社員の約半数が在籍）、現場からの業務改善案の打診を経営陣に行うことがで			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表や保護者アンケートによって出た意見に対して、迅速に対応させて頂いておりま			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ランチミーティングとして現場職員の意見を気軽に発信できる機会を設け、業務改善に繋げることができています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		堺市の事業所育成事業に積極的に申込みをし、業務改善に繋げている。	堺市の事業所育成事業が「第三者評価」という認識を現場スタッフに周知することができていなかったため、この機会に周知します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		堺市や放課後連絡会が主催する研修会に積極的に参加し、法人内での共有を行うとともに毎月社内研修をzoomを使用し開催している。	こんな研修をしたい！という希望をさらに受け止めて研修内容を策定していく。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		法人ホームページ、保護者連絡システム、紙媒体等、毎月作成したプログラムを広く周知している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		対面での面談はもちろん、保護者のニーズに合わせてzoomを使った面談にも対応しています。	面談を気軽に申し込んでいただけるように再度周知させていただきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		保護者のニーズや支援の要望は職員全員が見れるグループトークで即日共有を行い、より良い療育支援のために日々研鑽しています。	業務負担なく情報共有ができるように、情報共有の定型化を進めてまいります。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎朝朝礼にて支援計画の読み合わせを行い、支援計画内容を共通認識した中で支援ができるようにしています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		児童の適応行動については職員全員が見れるグループトークで即日共有を行い、より良い療育支援のために日々研鑽しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を設定しています。	管理職と現場職員では理解力にばらつきを感じるため、現場職員にもガイドラインをわかり易く説明し、事業所として共通理解の元支援ができるように研修の機会を設けます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		全職員からプログラム案を広く募集し、採用しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎日違うプログラムを実施し、飽きの来ない療育支援の提供をすることができています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		集団活動の中でSSTを中心に支援を行い、トイトレ等の必要に応じた個別支援も行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼にて毎朝役割の確認や支援内容の共通認識を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援終了後や、終了を待たず、支援の振り返りや反省を職員間で共有し、一人で悩まず療育支援できる環境を作っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		社を挙げて報告・連絡・相談の徹底を行っております。記録もグループワークや電子媒体にて保管しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		3か月に一度モニタリングを行っておりますが、必要と判断した場合には毎回利用時にモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援責任者や現場責任者が日々の療育の様子を把握し積極的に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		市や区、学校とは積極的に情報交換を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		円滑な情報交換ができるように、積極的に挨拶や情報共有をさせて頂いています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学時や病院受診のご利用者様には、積極的に申し送りをさせて頂いています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8		関係機関との情報共有を積極的にさせて頂いており、その際に助言を頂ける。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	地域の公園や施設を頻繁に利用しており、他の児童と交流する機会は月に4,5回程度ある。	地域の学校や保育園等との交流の機会を企画することを検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎の際はもちろん、内容によってはお電話にてお時間を頂き、共通理解を得るように積極的に情報共有を行っています。	保護者様の中には、細かい情報共有を望まない方もいらっしゃる、お手間をかけない（ウェブでメッセージする等）方法を統一し
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		毎月参観を企画し、保護者様に児童の療育を受ける姿を見学頂きながら、子育てや療育の悩み、相談を受ける機会を設けています。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や内容改定時はもちろん、いつでもご質問頂ければ説明をさせて頂いております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		児童の最善の利益を踏まえ、保護者や児童のアセスメントをもとに、本人も気づくことができているニーズを見つけ、支援方法の提	職員研修やOJTによって、クオリティの高いアセスメントや提案のできる熟練した職員の育成をしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		個々に合わせた療育の軸を設定し支援計画に盛り込み同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		参観や面談を随時行っています。	いつでも相談・面談行えることを広く保護者へ周知することで、気軽に相談できる環境を整える。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		BBQや花見など保護者参加型のイベントの企画を行い、保護者様へ向けた研修会も実施しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		基本的に即日対応を心がけており、迅速な対応をさせて頂いています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		保護者専用の掲示板を利用したり、HPやSNSで積極的に情報公開を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報は鍵付き書庫にて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じて口頭だけではなく、書面やメッセージ、相談支援員の活用をし、円滑な情報伝達ができるよう配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		他事業所のイベントに参加したりはできているが、現状スペース的な問題や個人情報の問題もあり実施できていません。	実施できる方法があるか検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		策定し、年二回の消防訓練等コンプライアンスに則って実施しています。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、年二回の避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時にもちろん確認し、現場スタッフへ周知を行い、見落とししないようにマグネットネームにしるしをしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食物アレルギーの把握を行い摂取しないように徹底しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		必要な訓練を毎年行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急時の連絡先を契約時に把握し、不測の事態には保護者へ連絡できるよう、社内システムメッセージや社内携帯への連絡先登録を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		即日記入し社内全体で共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年二回以上の虐待防止研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		該当児童無し	該当者がいた場合には行政に確認しながら、同意書の作成を行い、児童や保護者に説明・確認・同意を頂き支援計画に記載します。